

2025 年度京都市立芸術大学美術研究科 西洋美術史試験

I

①次の A～F の図版から 3 点を選び、可能な範囲で作者名、作品名、制作された時代もしくは様式名等を挙げながら、その作品の特徴を説明しなさい。(各 10 点、30 点満点)

②図版 A～F を古い順に並べ、この間の美術史の流れを自分の言葉で略述しなさい。

(並べ替え完答 5 点、記述 15 点、20 点満点)

クロード・モネ
《睡蓮》
マルモッタン・モネ美術館

A

《サモトラケのニケ》
ルーヴル美術館

B

ジャック＝ルイ・ダヴィッド
《ナポレオン一世の戴冠式と皇妃ジョゼフィーヌの戴冠》
ルーヴル美術館

C

D

マザッチオ
《聖母子》
ロンドン・ナショナル・ギャラリー

E

ジャン＝バティスト＝シメオン・シャルダン
《カードの家》
ロンドン・ナショナル・ギャラリー

ニコラ・プッサン
《黄金の子牛の礼拝》
ロンドン・ナショナル・ギャラリー

F

II

(1) で挙げた芸術家を、それに対応する (2) の用語と結びつけて、番号とアルファベットで答えなさい。(各 2 点、20 点満点)

- (1) ① ジョージ・マチューナス
② ジャクソン・ポロック
③ ウィリアム・モリス
④ ヴォルス
⑤ ヴィクトル・ヴァザルリ
⑥ ピエール・ボナール
⑦ オットー・ディックス
⑧ ウンベルト・ボッチョーニ
⑨ エルズワース・ケリー
⑩ クロード・ヴィアラ
- (2) a オプティカル・アート
b 未来派
c アンフォルメル
d フルクサス
e シュポール・シュルファス
f アクション・ペインティング
g アーツ・アンド・クラフツ
h ナビ派
i 新即物主義
j ハード・エッジ

III.

以下の設問に簡潔に答えなさい。(各 15 点、30 点満点)

1. 正規の芸術教育を受けていない人々が他者を意識せずに制作した作品、あるいは様々な精神疾患を持つ人々が制作する作品を再評価する動きが高まっています。具体例をひとつあげ、その特質と評価について簡潔に述べなさい。

2. 1970 年代後半から 1980 年代にかけて西ヨーロッパ、アメリカを舞台に広まった「新表現主義」について、その特色を具体例を挙げながら述べなさい。